「防災・減災まちづくりフォーラム」を開催しました！

■開催日時：平成27年12月6日（日）　■開催会場：町屋文化センター 多目的ホール

基調講演　災害伝承10年プロジェクト（東日本大震災の体験より・・・）

■登壇者：宮城県仙台市泉区市名坂東町内会会長　**草　貴子 氏**

今回のフォーラムでは、今後起こりうる地震災害にいかに備えるかをテーマとして、区の防災まちづくりの取組みのご紹介や、草貴子氏による基調講演『災害伝承10年プロジェクト（東日本大震災の体験より・・・）』を行い、地域で取り組む防災について参加者とともに考える機会となりました。

参加者の皆さんからのご意見など

○体験者の話を聞くのが一番です。特に講演後半の体験談が大変参考になりました。

○今後のフォーラムのテーマには、「起きた時どうするか」「起こさないためにはどうするか」にテーマをしぼり意識啓発をしてほしいと思います。

○引き続いて年に一度はフォーラムを開催して欲しいと思います。

○若い世代, 外国人など様々な住民に情報が行き渡るように工夫してほしいと思います。

■基調講演について

回答者４５名

【お問い合わせ】
荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課（区役所北庁舎２階⑭窓口）
TEL 3802-3111（内線 2828）担当：松田，仲野

平成 28 年 2 月発行
No. 32

町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり
まちやタイムす

発行：　町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会
荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課
編集協力：㈱地域計画連合

「防災まちづくり協議会」の活動について

平成27年度 第二回防災まちづくり協議会のようす

町屋二・三・四丁目地区では、「町屋二・三・四丁目防災まちづくり協議会」での検討を中心に、防災まちづくりの取組みを進めていきます。

今年度は、3回の協議会を開催し、地区内における防災上の課題および対策について検討を重ねております。

今後も、「安全で住みよい、暮らしやすいまち」の実現を目指してまちづくりを進めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、お願いいたします。

協議会の活動に関するご意見・ご要望がございましたら、ぜひお寄せください。

防災まちづくりの取組みを紹介しています

町屋二・三・四丁目を含む「町屋・尾久地区」は東京都の木密地域不燃化１０年プロジェクトの不燃化特区に指定され、「燃えない・燃え広がらないまちづくり」を目標に取組みを進めています。

その一環として、不燃化特区における取組みを地域の皆様にご周知するため、町屋二・三・四丁目地区の各町会役員会の場をお借りし、「延焼シミュレーション」の実演、助成制度の概要説明を行いました。延焼シミュレーションについては裏面をご覧ください。

事業ＰＲのようす(町屋一・二丁目仲町会)

各町会訪問の実施状況

町会名	開催日
町屋東栄町会	11月13日(金)
町屋一・二丁目仲町会	11月25日(水)
荒川区大門町会	11月28日(土)
町屋実揚町会	12月19日(土)
町屋二丁目仲町会	2月15日(月)
町屋睦町会	2月17日(水)
町屋江川町会	2月20日(土)
町屋三丁目仲町会	3月25日(金)予定

延焼シミュレーションによる地域課題の再確認

延焼シミュレーションとは？

延焼シミュレーションとは、条件（地域・風向・風速・出火点）を設定し、隣棟間隔などから延焼の広がりを画面上でシミュレーションするものです。

今回は荒川区の「防災まちづくり支援システム（延焼シミュレーション）」を使用し、町屋二・三・四丁目地区の「現況の市街地」と、道路の拡幅や燃えにくい建物に建て替えが行われた将来的な状態である「不燃化した市街地」の条件を設定し、燃え広がり方を比較しました。

シミュレーションの実施結果

現況の市街地・出火2時間後

不燃化した市街地・出火2時間後

左図の凡例

出火点　延焼している建物　焼け落ちた建物

主要生活道路（幅員６ｍ）

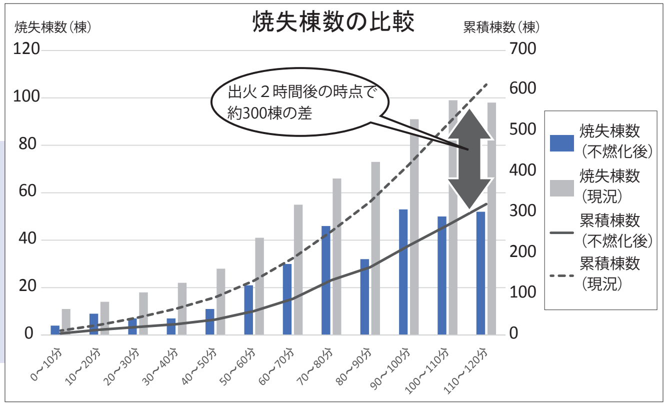
※不燃化した市街地とは、地区内の主要生活道路（━ 幅員６ｍ）の拡幅、沿道をはじめとする不燃化が計画的に行われた状態をいいます。

※このシミュレーションは初期消火等が全く行われないまま燃え広がった場合を想定しています。

出火点を地区内の北側にある建物を２か所選択、風向きを北東、風速：８ｍ/s（葉のある灌木がゆれ始める、池や沼の水面に波頭がたつ程度）の条件でシミュレーションを行った結果、「現況の市街地」（左図）が「不燃化した市街地」（右図）に比べ、燃え広がった範囲（■や■の部分）が大きい結果となりました。この結果をもとに、時間ごとの焼失棟数をグラフで比較すると、出火２時間後の時点で現況では600棟程度焼失している一方、不燃化後は約半分の300棟程度となっています。このことから、

- ●道路の拡幅や空地の確保により燃え移りを軽減することができる
- ●燃えにくい建物を整備することで、延焼の被害を軽減し、初期消火・避難の時間を確保することができる

ことがわかります。



課題を踏まえ、地域で出来る取り組みを

シミュレーションによる検討で課題を明らかにし、地域で出来る取り組み等、町内会・自治会、各家庭で日ごろから話し合っておくことが重要です。

- ▶ 道路の拡幅や、燃えにくい建物への建替えについて、重要性を広める。
- ▶ 延焼シミュレーションの実施以外にも、まちあるき等を通して、地域の防災上の問題点や特徴を把握する。
- ▶ 安全な避難経路の確認や地域での初期消火体制や避難方法を検討する。
- ▶ 各家庭で火を出さないための対策（通電火災対策など）を検討する。

延焼シミュレーションを３月５日の住まいの相談会会場で実演します!!
ご興味のある方の参加をお待ちしております

住まいの相談会を実施します

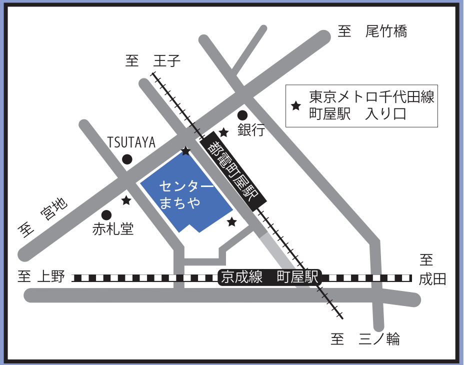
住まいの建替え等の各種相談にお応えする「住まいの相談会」を今年度も開設しています。建替えや、不動産の権利に関することなど、お気軽にご参加ください。事前にお問い合わせ先（下記）にご連絡頂けると、当日のご案内がスムーズになります。ご予約がない方にはお席を用意できない場合がございますので、予めご了承願います。

日時

平成28年
①３月４日（金）
午後７時～９時半
※受付は午後6時45分～８時半まで
②３月５日（土）
午前９時半～１２時
※受付は午前9時15分～午前１１時まで

場所

センターまちや
（荒川 7-50-9）
４階会議室Ｂ



☆開催時間の間、自由に出入りできます☆

様々なお悩みにお答えします！

●建替えを考えているんだけど、どのような助成制度があるの？
●敷地が道路に少ししか接していないのですが、建替えはできるのでしょうか？　等々

ご予約・お問い合わせ

荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課防災街づくり係（区役所北庁舎２階⑭窓口）
電話：３８０２-３１１１（内線２８２８）fax：３８０２-４１０４